

もつていい

浦添市立港川中学校三年 喜納 笑生

「うっさいな。母さんは私を愛してないんでしょ。」

「その口は何なの。笑生。」

「どうせ私はダメな人間なんだ…。もう死ぬ。」

そう言った私はベランダに向かう。

「待ちなさい。」

と母は言い私の腕を引っ張る。あれから長時間と私は母と話し合った。

初めて母の前で「死ぬ」と言った日だった。

何をやっても上手くいかず、怒られてばかり。あまりにも無力な自分を私は嫌い、母の

目の前で涙を流しながら「死ぬ」と呟いた。それほど、私の気は滅入っていた。

母の目の前で「死ぬ」と言った日から何ヶ月後だったのだろうか。あれは私が中学二年生

の六月頃の話だった。いつもと同じように学校に通い、次の授業の準備をしている頃だった。

突然担任の先生に呼ばれ、

「笑生さん、夏休み長崎研修に学校代表で行ってみないか。」

と言われた。研修は、浦添市内の各中学校男女一人ずつ選出し、夏休みに沖縄戦や長崎の

原爆について学び、平和を伝える、ピースメッセージとして活動するという内容だ。

私は「無料で飛行機に乗れるんだ」と、軽い気持ちで研修に参加することにした。

そして七月。各学校の代表が集まり、初めて顔合わせをした。それから浦添市内中学校

五校の代表、計十名で、多くの沖縄戦の戦跡をめぐった。どこも印象深く、どこに行つて

も心が痛くなるほどの思いをしたが、中でも特に一カ所、私が辛い思いをした場所がある。

それは壕だ。その時訪れたのは轟壕と言う糸満市にある壕で、壕の入り口にたどり着くま

では、何百段とある足場の悪い階段を降りなければならなかった。また階段は湿気によ

り滑りやすく入り口に行くまですら一苦労だった。壕の中に入ると真つ暗で、自分の身体

すら見えず、岩でできた天井はとても低かった。また中には茶色に水がにごった川が流れ

ており生臭かった。「ここに何ヶ月も怯えながらじっとしないといけないなんて。昔の人は

どれほど辛かったのだろう」と、実際に体験する事で、これまでにない寒気を感じたこと

を私は今でも覚えている。

沖縄の戦跡巡りが終わり、いよいよ長崎研修がやってきた。長崎の原爆資料館に訪問し
たり、全国から集まった平和交流団の方々と交流をしたりと、さまざまな体験をした。そ

の中で私は気づいたことがある。それは長崎で被爆者の方がいる老人ホームに訪れた時の
事だった。私達は被爆者が自身の体験談を話してくださったお礼とし、エイサーを披露した。
すると被爆者の方々が車イスに乗ったまま手拍子をしてくれた。そしてエイサーを踊り終
わると、

「もつていい。」

と、長崎の方言でアンコールをいう意味の言葉が、会場に広がった。さらに、この「もつ
ていい」は二回続き、計三回、私達はエイサーを踊った。被爆者の方一人一人が他県から
来た名前も知らない私達を、まるで孫を見ているかのような優しい目でほほえんでいる姿
に、私は深く考えさせられた。その中で私は、どんな人であろうと、必ず誰かの役に立つ、
必ず誰かを笑顔にできる…と言う事に気付かされた。私はずっと自分が嫌いだった。その
理由は、誰の役にも立てず、逆に迷惑をかけてばかりと感じていたからだ。体調もあまり
良くはなく、部活や生徒会を一時休んでいたこともある。体調も崩し、半ば強制的に早
退した日は「元気に、ただ皆と同じように学校に通いたいのに、なぜ自分だけ」と悔し涙
を流した。そしていつしか「死にたい」と願うようになった。だからこそ、被爆者の方々が笑っ
てくれたとき、私にもできる事があるんだと、希望に満ち溢れた気持ちになった。

私がこの体験を通して伝えたいことは戦争の悲惨さよりも、未来の為に私達には何がで
きるかを考える、と言うことだ。沖縄戦を体験した方々、原爆による被害者の方々、どち
らも過去に辛い思いをした人々だ。できれば思い出さたくないような深い心の傷もあるか
もしれない。それでも私達に自身の体験談を伝えてくれる人がいる。そのことに対し私は「あ
りがとう」だけで終わらせたくない。「ありがとう」だけで終わらせてしまうと、戦争体験
者の負った過去の傷を忘れてしまうような気がする。私はもう二度と沖縄を血の海にさせ
たくないし、人が人を傷つけるような事もしたくない。だから私は「自分が今、平和のた
めにできること」を考えないといけないと思う。そのための案として、私は平和な未来を
創るために自分ができることは音楽ではないかと考えた。私は音楽、ピアノやダンスが幼
少期から好きで、得意である。そのため、将来はパフォーマーになって沢山の人を笑顔に
したいと思った。そして、その考えるきっかけとなったのが、長崎の被爆者の方々が言っ
てくれた「もつていい」という言葉である。

私と世界中の人々は、住んでいる国も、文化も違うけれど、皆望む事は一緒、「幸せ」だ。「幸
せ」を別の言葉にして表現すると、「安定」や「平和」だと私は思う。

皆が平和な未来を創るために自分自身ができること。あなたなら、自分の持っている力を、
どう最大限に使うだろうか。今一度、考えてみよう。